

地域の話し合いを通じた担い手への農地集積及び ボタンボウフウの生産拡大による荒廃農地の解消

ぶんど たかだ し
〔大分県豊後高田市〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
粗放的利用・ スマート農業	鳥獣害対策	地域・集落の 共同活動	その他

1. 地域農業の状況

○ 豊後高田市は大分県の北東部国東半島の西側にあり、羽根地区は、豊後高田市の最北に位置する漁村集落。地区内の農地は半漁半農の農業者(9人)で平成20年頃まで葉たばこ、野菜等を生産していた。



○ 現在、当地区は専業の漁業者も0人となった。地区内の農地の殆どは地区外の認定農業者に貸付を行い大麦 若菜0.9haを栽培。条件不利農地については荒廃化が進んでいる。

○ 令和3年度から事業の取組みにより、令和5年度までに荒廃農地1.9haの再生を行った。令和7年度までに2.98haを再生しボタンボウフウ※の生産拡大を目指す。

※ボタンボウフウとは、作物が育ちにくい海岸部の岩肌で海水や潮風を浴びながら自生するセリ科の植物である。栄養価が高く、薬効成分も豊富であるため、近年健康や美容への高い効果が注目されている。



話し合いの様子



ボタンボウフウ栽培状況

活用した
支援策

R3 農山漁村振興交付金(最適土地利用総合対策)(国)
※R3～4は前身の最適土地利用対策
R3 大分県最適土地利用対策事業費補助金(県)

2. 地区概要

取組主体	豊後高田市	地区名	はね 羽根地区
再生面積	2.98ha(予定)	取組年次	令和3年度～
作付作物	ボタンボウフウ、レンゲ等	販路	全農等に出荷

3. 取組内容及び効果

ボタンボウフウの生産で荒廃農地を再生、商品開発で収益向上を目指す

- 地域での話し合いにより、**荒廃農地2.98haを再生しボタンボウフウを生産**。また、農地が急傾斜地にあるため農道整備を行う土地利用計画を作成。
- 農地の賃貸については**農地中間管理機構を通じて長期契約**を行うことで農地所有者も安心して貸し付けができる。
- 令和4年度から**地域おこし協力隊を採用し生産体制の強化**を図っている。さらに令和5年には**管理主体である香々地ボタンボウフウ研究会(任意組織)の法人化**を行い販売体制の強化も図った。
- 持続可能な地域農地の保全と雇用の創出に向けて**収益向上を図るため機能性表示食品の商品開発と販路開拓**を行っている。
- **企業との連携により新たな商品開発**を行ったことで、県内外のスーパー、直売所、コンビニエンスストアなど**販路の拡大**が図れた。
- 農地が再生されたことで、計画区域外の農地所有者からも耕作依頼があり、荒廃農地の解消につながった。



山林化した荒廃農地



令和3年からの農地整備状況



新商品開発による販路拡大